

## 「地球温暖化防止対策の在り方の検討に係る小委員会」報告書の概要

本報告書では、京都議定書の締結に必要となる6%削減目標を確実に達成するための国内制度の一環として、経済的手法や規制的手法を組み合わせた5つの政策パッケージモデル案及び政策パッケージを適切に実施するための基盤となる仕組み（温室効果ガス排出量のモニタリングシステムやその結果に基づく対策強化メカニズム等のPDCA〔plan, do, check, action〕サイクル等）の在り方等について、具体的な提案がなされている。

### < 5つの政策パッケージの概要 >

#### 地球温暖化対策推進大綱重視モデル

- ・ 現行の「地球温暖化対策推進大綱」に盛り込まれた各種施策を推進するとともに、2008年以前に各種施策の評価と見直しを行う。

#### 自主的取組強化モデル

- ・ 産業部門については、自主行動計画の協定化又は計画策定の義務づけを図り自主的取組を強化。
- ・ 民生・運輸部門についてもビル・大規模住宅の省エネ基準の義務化、自動車税制のグリーン化等、対策の一層の拡充。

#### 環境税モデル

- ・ 環境税を導入し、温室効果ガスを排出するすべての者による取組を幅広く促進。
- ・ 環境税の導入に当たっては、我が国の産業構造の中長期的な展望や国民生活への影響の観点から何らかの緩和措置を講じる。
- ・ 民生・運輸部門対策については に同じ。

#### 環境税&大規模管理モデル

- ・ 環境税を導入し幅広く取組を促進する一方、より確実に排出量を管理する必要があると考えられる業種・分野については、環境税に代えて総量規制又は排出量取引制度を導入。
- ・ 民生・運輸部門対策については に同じ。

#### ハイブリッド排出量取引モデル

- ・ 化石燃料の輸入・製造者及び大規模排出者を対象とするハイブリッド型の排出量取引制度を導入し、確実な排出削減を図る。
- ・ 2008年以降は、国際的な排出量取引制度と国内の排出量取引制度とをリンク。
- ・ 民生・運輸部門対策については に同じ

## (参考)小委員会報告書 目次

はじめに

### 第1章 二酸化炭素の排出削減に向けた政策パッケージ

#### 第2章 政策パッケージの内容について

- 第1節 各種推進メカニズムの特徴
- 第2節 諸外国における政策パッケージの検討の現状
- 第3節 我が国における政策パッケージ提案事例
- 第4節 ポリシーミックスの在り方について

#### 第3章 部門別の地球温暖化対策と推進メカニズムの現状と課題について

- 第1節 産業部門
- 第2節 民生部門
- 第3節 運輸部門
- 第4節 エネルギー転換部門
- 第5節 非エネルギー起源のCO<sub>2</sub>及びCH<sub>4</sub>、N<sub>2</sub>O排出
- 第6節 HFC、PFC、SF<sub>6</sub>の排出
- 第7節 我が国における地球温暖化対策と推進メカニズムの現状と課題全体についての議論

#### 第4章 地球温暖化対策のための基盤メカニズムの在り方について

- 第1節 6%削減目標の達成に向けた課題
- 第2節 情報システムの必要性

#### 第5章 ポリシーミックスによる政策パッケージのモデル

- 第1節 政策パッケージの検討の視点
- 第2節 ポリシーミックスの要素となる推進メカニズムの検討
- 第3節 各々の推進メカニズムを改善するための検討
- 第4節 推進メカニズムを組み合わせるための検討
- 第5節 政策パッケージのモデルの検討
- 第6節 2002年までの議定書の締結に向けた国内制度の検討
- 第7節 ポリシーミックスによる政策パッケージのモデルについての議論